

学校だより 安佐北

修学・克己・敬愛

広島市立安佐北中学校・高等学校

TEL 082-818-0656・0600 FAX 082-818-5140
web http://www.asakita-h.edu.city.hiroshima.jp

平成24年度
第5号
11月2日
(霜月)
(NOVEMBER)

『孔子曰。君子有九思。視思明。聽思聰。色思溫。貌思恭。言思忠。事思敬。疑思問。忿思難。見得思義。』 (論語)

孔子曰わく、君子に九思(きゅうし)あり。視るには明(めい)を思い、聴くには聡(そう)を思い、色には温(おん)を思い、貌(かたち)には恭(きょう)を思い、言には忠(ちゅう)を思い、事には敬(けい)を思い、疑わしきには問(もん)を思い、忿(いかり)には難(なん)を思い、得るを見ては義(ぎ)を思う。

孔子がおっしゃいました、「人の手本たるべき君子には九つの心掛けがある。物事をはっきり視る事、人の話は詳細に聞く事、温和な表情を保つ事、恭しい態度を保つ事、誠実に話す事、慎重に仕事を為す事、不確かな事は確認する事、怒りを表す前に後の事に思いを致す事、利益を得る前にそれが道理に適っているか考える事だ。」

◎ 芸術鑑賞会 10月12日(金)

今年度の芸術鑑賞は、中国伝統芸術界各部門の名手が集結し、ハイレベルな技能を發揮するエリート集団である、中国龍鳳芸術団(The Chinese Dragon & Phoenix Arts Group)をお招きしました。



感動と同時に、次の3点を学びました。

- ①雑音や誘惑や弱気な心に惑わされない高度な集中力
- ②一方に偏らず物事を瞬間で判断する際のバランス感覚
- ③厳しい鍛錬に耐えてきた自分の力を信じる勇気と自信



【中学1年生の感想】

団員の人は、幼い頃から厳しい練習に取り組まれていて、辛い時もあっただろうけれど、そういう練習があったからこそ、こんなに大勢の人々を感動させることができるのだと思います。

す。だから自分も部活とかでも、辛い練習とかがあっても、その先の成功を信じて、前向きに取り組んでいきたいです。

◎ 広島大学「サイエンスカフェ」出張講義

10月16日(火)、広島大学「サイエンスカフェ」出張講義版として、広島大学大学院先端物質科学研究科 准教授 高橋 徹先生、聞き手に寺本 紫織さんのお二方をお招きし、「ビッグス粒子」についてお話を伺いました。



◎ 第40回広島県高等学校デザインコンクール

参加校 50校、出品点数 1190点の中から、今年度も本校美術陶芸部が各賞をいただきました。
《学校賞》広島県教育委員会賞
《個人賞》
広島県知事賞(1位)……… 高松安奈(4年)
広島県教育委員会賞(3位)……増田啓志(5年)

広島県商工会議所連合会会頭賞(5位)…… 天野優美香(4年)
NHK 広島放送局賞(7位)…… 上本真澄(4年)
中国放送賞(8位)……… 新田奈々(5年)
広島テレビ賞(9位)……… 沖野春菜(5年)

◎ 書道パフォーマンス・カーター大会inこうぬ

本校書道部への出場決定通知書が届きました。

11月7日(土)、甲奴町ジミーカーターシビックセンターで開催される書道パフォーマンス・カーター大会に本校書道部が出場します。

日本の伝統文化「書」を通じて新しい出会いや人と人とのつながりの場所をつくりながら、未来を担う若者の多彩な才能の発掘と地域活性化の融合を目的として開催されます。

出場チーム 全8団体

- ・広島市立安佐北中・高等学校
 - ・広島市立基町高等学校
 - ・広島県立神辺旭高等学校
 - ・広島県立日彰館高等学校
 - ・広島県立五日市高等学校
 - ・広島県立明王台高等学校
 - ・安田女子大学文学部書道学科
 - ・外林省二 大人のオープン参加チーム
- ※ 順不同

◎ 校外清掃・ワックスがけ

10月19日(水)の午後、地域清掃活動を行いました。東は近隣公園、西は三入中学校、北は特別支援学校までの範囲を4ブロックに分けて、1年から6年の全校生徒で活動しました。



◎ 平成24年度受信環境クリーン図案コンクール

本校2年 平上 正子さんの作品が中国協議会賞に選ばれ、10月24日、総務省中国通信局から伊藤放送部長様がお越しになり、表彰式がありました。

入賞作品はインターネットで「中国受信環境クリーン図案コンクール」と検索すればご覧いただけます。



◎ 全国学力・学習状況調査の結果概要

本年4月17日に実施された全国学力・学習状況調査の各教科平均正答率は下表のとおりです。

【国語】定着状況…①特に「読むこと」の領域については、文脈に沿って指示された内容を読み取る力が多くの生徒に定着している。②活用力では「書くこと」の領域において、字数制限がある上で書いてまとめるコツを習得している。課題…習得している語彙の量が乏しく、日常会話や教科書に出てくる比較的簡単な語句の意味を理解していない生徒もいる。「言語事項」の正答率が他の領域よりやや低い点からもその傾向が伺える。

【数学】定着状況…知識に関する内容では平均を大きく上回っており、知識・理解や技能においては充分定着している。課題…①数量関係領域において関数の概念や資料の活用について定着が不十分である。②記述式の問題の正答率が低い。考え方をうまく表現できない。自分の言葉で説明する力をつける必要がある。

【理科】定着状況…①主に知識に関する内容では、物理的領域、化学的領域、生物的領域、地学的領域、いずれも国の正答率を上回っている。特に物理分野、化学分野においてはすべての領域が上回っていた。②主に活用に関する内容では、実験結果の解析や、現象の説明方法について習得している。

課題…①主に知識に関する内容では、成長して種子になる部分の名称を選ぶ問題の正答率が低かった。復習の時間確保が必要である。②主に活用に関する内容では、地層のつながりを考察することができていない。地学的領域の学習が不十分である。

◎ 学校へ行こう週間

今週、来週は学校へ行こう週間です。

子どもたちの活動の様子を是非ご覧ください。

(了)

平成24年度 全国学力・学習状況調査結果

国語						数学						理科		
A問題(知識に関する問題)			B問題(活用に関する問題)			A問題(知識に関する問題)			B問題(活用に関する問題)			国	県	安佐北中
国	県	安佐北中	国	県	安佐北中	国	県	安佐北中	国	県	安佐北中			
75.1	75.3	85.4	63.3	63.6	72.4	62.1	62.4	83.1	49.3	49.8	74.1	51	50.2	63